

2023年 JAF全日本ジムカーナ選手権 参戦レポート

第1戦 もてぎスーパーслаローム2023

主催者ホームページ



開催日 : 2023年3月25日(土)~3月26日(日)

開催場所 : モビリティリゾートもてぎ 南コース



2023年 4月 3日 深川 敬暢

2023年 JAF全日本ジムカーナ選手権

全日本初のEV車、テスラモデル3でのチャレンジが始まりました。第1戦は栃木県ツインリンクもてぎから今年的全日本選手権が開幕です。

全日本でどの程度の戦いが出るのか、未知数で会場に乗り込みましたが、公開練習の結果からは十分に優勝を狙える手応えを感じました。会場では、EVテスラに想定以上の注目が集まり、狙い通り多くの人達がテスラの速さに驚き、興味深くEVジムカーナの可能性を感じてもらった事ができました。以下ご報告します。



参加車両 テスラモデル3

1. 結果

PE1クラス 2位/9台中

ベストタイム : 1'17"963

優勝とのタイム差 : 0"500

参加車両 : テスラモデル3 (ZAA-3L23P)

車両名 : GEPARDエナペWMモデル3

【リザルト】

開催日 : 2023/03/26

開催場所 : MOBILITY RESORT もてぎ 南コース

天候 : 雨

路面状況 : ウエット

PE1クラス

順位	No	W	ドライバー	参加車両名	車両型式	1ヒート	P脱T	2ヒート	P脱T	BestTime	P脱T
1	10		大橋 政哉	DLμG-LFWA110S	DFM5P	*1'17.463	0 0 0	1'20.986	0 0 0	1'17.463	0 0 0
2	3		深川 敬暢	GEPARDエナペWMモデル3	3L23P	*1'17.963	0 0 0	1'19.113	0 0 0	1'17.963	0 0 0
3	7		角岡 隆志	ADVANTラップA45	17G052	*1'19.740	0 0 0	1'20.851	0 0 0	1'19.740	0 0 0
4	5		牧野 タイソン	DL★Rz速心A110	DFM5P	1'21.316	0 0 0	*1'20.148	0 0 0	1'20.148	0 0 0
5	8		古谷 知之	アーイーストロックGT3RS	991MA175	*1'20.867	0 0 0	1'22.342	0 0 0	1'20.867	0 0 0
6	2		飯野 弘之	JORSいいの眼科DLA110	DFM5P	*1'23.653	0 0 0	1'24.021	0 0 0	1'23.653	0 0 0
7	1	10	大橋 政人	DLμG-LFW柏A110S	DFM5P	ミスコース		*1'25.852	0 0 0	1'25.852	0 0 0
8	4		大川 裕	ALPINE A110S	DFM5P	ミスコース		*1'25.895	0 0 0	1'25.895	0 0 0
9	6		段上 泰之	ヒカリサンライトYHケイマン	981MA123	1'29.226	0 0 0	*1'27.247	0 0 0	1'27.247	0 0 0



表彰式 2位表彰

2nd天 候 : 雨

2nd路面状況 : ウエット

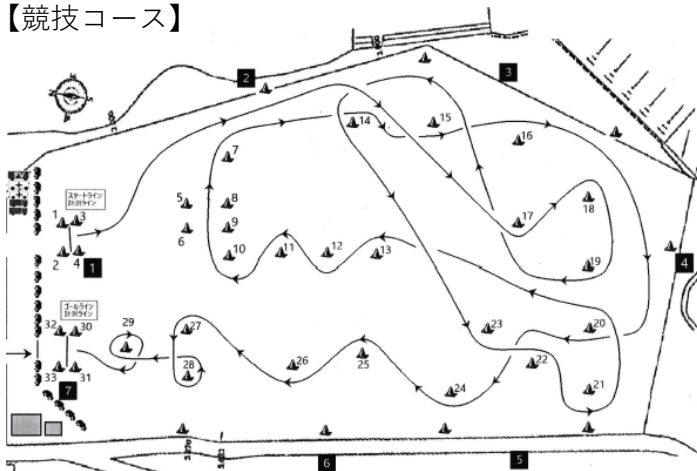
2. 競技コース・車両仕様

広大なもてぎ南コースをフルに使用したハイスピードコースでしたが、決勝は2本共フルウェットで、高速区間からのブレーキコントロールの技術が問われるコース。各所に水たまりも出来て、多くの選手がスピンを喫するなど、難易度の高い一戦となりました。

【車両仕様】

項目	仕様	
タイヤ	Fr	BS RE71RS 245/40R19
	Rr	BS RE71RS 245/40R19
サスペンション	GEPARD/エナペタル e12	
スプリング	Fr	HAL高反発 7in 22k
	Rr	HAL高反発 5in 30k
ブレーキパッド	Fr	WinmaX ittZ R4
	Rr	WinmaX ittZ R7
運転席シート	BRIDE ZETAIV	

【競技コース】



【コースコンディション】

	1本目	2本目
天候・気温	小雨 ・11°C	強雨 ・13°C
路面・温度	ウエット ・11°C	ベターウエット・15°C

3. 走行結果

1本目：1'17"963

前日、2位に対し1.3秒差でトップタイムを取った公開練習コースに対してスラローム配置などが厳しい方向にオフセットされるなど、テスラにとっては不利な方向にコース設定が変更されました。路面コンディションも、前日より雨量が多く、路面温度も低く、難しい状況となりました。

スタート全開から右コーナーをクリア後に、タイトターンに入る2コーナーの進入で、想定外にリヤが滑り、立て直しロスが発生。路面温度の低さから、思った以上にグリップが無かった事を認識したため、その次のコーナーが探る進入となりました。

結果、やや攻め切れないコーナーが続いてしまい、最終の小回り区間のラインの甘さもあって不本意なタイムでゴールとなりました。案の定、ウェットに強いダンロップβ11装着のダブルエントリー後走のアルピーヌA110にかわされるタイムとなりました。

📹 走行動画
(車載+外撮り)



1本目

2本目：1'19"113

1本目の反省を踏まえて、各コーナーでマージンを持ちすぎない事を意識。逆点を狙っての攻撃でしたが、生憎1本目よりも雨量が増え、あちこちに水溜りが出来る状況。

スタート後の1コーナーから水にのってラインを外す状況から、各所コーナーの立上りで、イン側のタイヤの空転により出力制御がかかっていた様で、加速が制限されていたと思われます。コース中盤中間計測前のスラロームではブレーキングでのハイドロでコントロールを失いそうになるなど、タイムが上がる要素がどんどん無くなっていき、結局1本目の1.2秒遅れで優勝ならずには終わりました。

📹 走行動画
(車載+外撮り)



2本目

【ご参考】当日のZummy Racing Family様によるYoutube配信動画録画

- ・PE1クラス決勝第1ヒート (13分30秒～25分くらい)
- ・PE1クラス決勝第2ヒート



第1ヒート



第2ヒート



4. トピックス その他

昨年末から準備してきたモデル3は、初戦としては合格点が出せる力を発揮してくれました。会場では、3日間で恐らく4～50名の方がパドックを訪れ、テスラに興味を持ってマシンを見て行かれました。今後のモデル3の参戦者増加、EV車で新たな競技人口が増える様に、良い走りでもPRして行きたいと思えます。今後とも、よろしくお願い致します。